

2) Atypical vessels の判定は、酢酸加工前、加工後 green filter を使用して行っている。

135. コルポスコピーにおける子宮頸部扁平上皮領域の異常

(徳島大)

乾 貞治, 岸 恭也, 保田 正憲
古田 則明, 藤田 秀樹

目的: 近年, 初期子宮頸癌の検診例が増加するにつれて円柱上皮領域あるいは移行帯についてのコルポスコピーおよび組織学的検索は次第に詳細になつてきた。それに反してかつては頸部のいわゆる扁平上皮癌の発生母地と考えられていた扁平上皮領域の臨床的意義はかなり減少した感があり, 一昨年発表されたコルポスコピー所見の国際分類でも扁平上皮領域についての所見は極めて簡単である。また最近増加しつつある verrucous carcinoma の報告例を見ると, この領域の病変について再検討が必要と思われる。

方法: コルポスコピーの際に特に扁平上皮領域(無腺領域)に独立して存在していると思われる厚い白色上皮に注目した。それらの例の摘出子宮をホルマリン固定し階段切片を作つて組織学的に検討した。

成績: 当科では1974年初年から1977年末までの4年間に741人がコルポスコピーを受け, その中で円錐切除あるいは子宮摘出を受けた上皮内癌例は101人であつた。このうちの4人にコルポスコピー上, 扁平上皮領域に独立して厚い白色上皮が認められた。このうちの2例は上皮内癌であり2例は異形成であつた。上皮内癌例のうちの1例ではその病巣の上端がわずかに最下端頸腺の上方に及んでいるに過ぎなかつた。異形成のうちの1例は follicular cervicitis et colpitis を伴つていた。これら4例はいずれも腺領域に上皮内癌巣があつた。

独創点: 近年観察がやや不十分な傾向にある子宮頸部扁平上皮領域に独立して存在している病巣についてコルポスコピーおよび組織所見の両面から検討を加え, その重要性を指摘した。

質問 (慶応大) 栗原 操寿

コルポスコープを早期癌の診断治療にどのように役立てていますか。

回答 (徳島大) 岸 恭也

病変の最下端と腔円蓋の最も近い部位は何時の位置で何ミリであるかを全例, 手術前に記録しておきます。術者はそれを見て手術をします。これは浸潤癌についても全例行つております。上皮内癌例では長く腔壁を切除し

なければならぬ症例は非常に稀です。

質問 (近畿大) 野田起一郎

扁平上皮領域に独立した病巣を認めた4例は, 全て腺上皮領域にも上皮内癌病巣を認めたとのことであるが, それは multicentric な発生と考えるのか。

回答 答(徳島大) 岸 恭也

今日報告しました多病巣性の病変の全てが多中心性に発生したか否かは断定できませんが, コルポスコピーおよび階段切片の所見から見ますと, 少なくともその一部, たとえば第一例などは多中心性に発生したと考える方が妥当と思われま。

136. 子宮頸 Ia 期癌のコルポスコピー所見—コルポ診による初期浸潤の認識について—

(近畿大)

池田 正典, 佐々木秀敏, 木村 憲三
井上 芳樹, 手島 研作, 三好 得司
澗 勲, 野田起一郎

1) 目的: コルポ診は子宮癌の病巣の局在と拡がりの診断法であつて, 従来病変の質の診断能力に対しては, 否定的見解が多かつた。しかし, 頸癌治療の個別化の傾向から術前における浸潤の有無およびその程度の正確な診断が強く要求され, この点に関するコルポ診への期待が大きい。今回多数例のコルポ像の解析から, Ia 期癌に特徴的な所見を明らかにし, コルポ診による初期浸潤の認識の可能性につき検討した。

2) 方法: 過去3年間に当科で手術された0期癌59例, Ia 期癌61例, Ib 期癌69例の摘出子宮の亜連続切片による組織標本から病巣の再構築を行ない, colpophotograph と対比検討した。

3) 成績: ① Ia 期癌の再構築による初期浸潤病巣の局在位は ectocervix 48例(78.7%) endocervix 13例(21.3%) で後者のうち4例(6.6%) は病巣がコルポにより全く観察し得ない部位にあつた。② コルポ異常所見の環状の拡がりは, Ia 期では半周未満17例(27%), 半周以上44例(72.1%) で, 特に全周に異常所見を認めた例が21例(34.4%) もあり, 0期では59例中7例とわずか11.9%にすぎなかつた。③ Ia 期癌病巣のコルポ所見は, 白色上皮, 赤点斑, モザイク合併例が31例(86.1%) で, 多少なりとも異常腺口, 異型血管を伴つていた症例も31例(86.1%) であつた。④ Ia 期癌の再構築像にみる浸潤の存在部位とコルポ像との対比から, 初期の浸潤を相対すべき所見と結論されたものは, 重種状異常腺口集団, 表面隆起を伴う不規則な赤点斑,

モザイクであり、これは Ia 期癌の97.2%にみられた。

質問 (佐賀医大) 杉森 甫

組織の再構築とコルポ診の部位とを相関させるのはかなり困難と思われるが、特別の方法を採用されているか？

質問 (慶応大) 長谷川寿彦

Colposcopic impression は Colpophotography によるのか否か？

質問 (琉球大) 東 政弘

私共は、コルポ診上、同じ白色上皮でも(特にうすい白色上皮)、それが ectocervix にあるか、endocervix にあるのかにより、その評価に重みをつけて診断しております。

先生のところでは、コルポ異常所見の存在部位について、何らか考慮していますか？

回答 (近畿大) 池田 正典

① 手術摘出子宮の12ブロックの組織標本の再構築像とコルポ所見との対比検討を行ったところ、微小浸潤癌病巣において aV₂ の所見がみられたわけです。

② 組織標本作成上、変型等の為、特に外子宮口部位の決定が難しいので、標本を固定する際、外子宮口部分にピンをさしておき、固定後にブロックに切る際、外子宮口部分が判るように工夫いたしました。また標本の固定に際し、摘出子宮を内子宮口部で切断し、12時方向でひらいて1枚の板にはりつけ固定しました。

③ 私達は white epithelium を表面からの隆起表面の不整等の所見より、3段階に分類しましたが、その所見の出現部位 (ectocervix か endocervix か) により colposcopic impression をかえることはしておりません。

④ 今回はコルポ施行時の所見、colpophotograph 及び病巣の再構築像から retrospective に colposcopic impression を設定し、新たな症例に対し、この colposcopic impression を prospective に用いたわけで、実際のコルポ所見より行いました。

回答 (近畿大) 野田起一郎

基礎的な検討として colpophotograph と摘出標本の再構築を行ったのであつて、その結果から一定の判定基準を作り、それによつて実際のコルポ所見を判断して診断に導いたわけで、写真で実際の診断を行っているわけではない。

137. コルポスコープ像の基礎的解析—特に mosaic の形成過程について

(岡山大)

藤森 照良, 川岡 弘治, 片山 竣介
石井 良夫, 福井 秀樹, 奥田 博之
関場 香

コルポスコープ像における代表的異常所見である mosaic pattern の形成過程は、現在なお明らかにされていない。今回我々は、鋳型走査電顕法によつて、mosaic の形成過程、及び腫瘍性病変の進行にともなう変化を明らかにするため本研究を行った。

方法：子宮腔部に種々の mosaic pattern が見られた症例の手術摘出子宮を用いて、樹脂注入による血管鋳型を作成し、走査電子顕微鏡下にこれを観察した。なお、対象症例の病理組織診断は、扁平上皮化生、異型上皮、上皮内癌、初期浸潤癌であつた。

成績：扁平上皮化生の部分で見られた mosaic の血管構築は、いわゆる basket 構造は成しておらず、表面に沿つて走る loop 状の血管が見られただけである。異型上皮の部分では、多数の hairpin 様突出血管が見られ、その一部のものが柵状に並び、相互に連絡し、直立した一層の net 構造を作り始めている。更に病変の進んだところでは、柵様構造が円形になつて、完全に閉じ、はつきりした浅い basket 構造を作っている。上皮内癌になると basket はよりしつかりした構造になり、深さも増してくる。初期浸潤癌では、basket の側壁、及び底部 net 層の破壊が認められた。以上の結果より、コルポ像で同じ様な mosaic を呈していても、化生上皮と neoplastic change では、全く異なつた血管構築を示しており、いわゆる basket 構造は、neoplastic change においてのみ形成されており、この構造は、hairpin 様突出血管が基盤となつて形成され、異型上皮ではじめて出現し、上皮内癌で堅固となり、初期浸潤癌に至ると、この構造の破壊が起ることが明らかとなつた。

質問 (大阪成人病センター) 奥平 吉雄

CIS と微小浸潤癌においてバスキットの血管の乱れと上皮基底膜の変化との関連について御意見をお聞かせ下さい。

回答 (岡山大) 奥田 博之

本日お示しました上皮下毛細血管網は基底膜に当る部分に存在しております。これら上皮下毛細血管網は間質を構成する重要な部分であるという観点からも基底膜との関係は興味あるものとして、捕えて行きたいと考えております。

質問 (慶応大) 長谷川寿彦

Angioneogenesis はどの時期からみられますか。